

西田みのぶ

だより

おもいよりの長崎



平成19年8月 発行責任者 谷頭 肇
長崎市水の浦町1の1 Tel 095-861-6032

No. 20

さて、改選後最初の定例6月議会は、当選した新市長の施政方針とそれに基づく一般会計予算(案)の提案、それに対する各派の代表質問および一般質問が通常おこなわれます。しかし今回は、故伊藤前市長が改選前の2月議会で、施政方針と共に異例でしたが「平成19年度一般会計予算」を前もって議会で提案し、議会もそれを原案通り可決承認していました。したがって、19年度予算は旧伊藤市政が提案した予算となり、田上市長自身の施政方針に絡んだ予算は本格的には平成20年度からとなります。



長崎市議会議員

西田みのぶ

超ベテラン船頭から超新人の船頭へ舵取りが移り、航海士も交代して船出する田上丸、まだまだ「順風万帆」の航海とはならないと思いますが、このような時こそ私たち議会が乗船する市民の代表として、田上丸が航路を誤らないようチェックし、互いに協力し合って市民の安全で安心できる生活を守らなければなりません。私も2期目を迎えました、初心を忘れず新たな気持ちで皆様のお役に立ちますようこれからも頑張つてまいります。

行政と議会は車の両輪

とでは、これまでの取り組みに大きな変化はありませんが、市長の基本的な考えとして「対話を重視する」「行政指導型の市政ではなく市民を中心とした市民指導型の街づくり」、そして行政はそのサポート役に廻り、「市民が主役の街づくり」をしていくこととする姿勢を私自身感じました。

新しい幕開け

統一自治体選挙後、初めての定例議会が開催されました。本議会の故伊藤市長の席には、田上新市長が着席、私の回りの議員席は激戦を勝ち抜いた14名の新しい議員をはじめ、51名全員が緊張した顔付きで着席、その雰囲気は、これからの長崎市政運営に対する緊張感そして期待感に溢れ新たな時の訪れを感じました。

平成19年度予算は旧伊藤体制!

旧伊藤体制!

新市長の所信表明のポイントは、「市民力・職員力」

さて、田上市長就任後の初めての施政方針があり、新市長の市政を司る基本的な考えが示されました。それぞれの事業を推進していくこ

初当選!

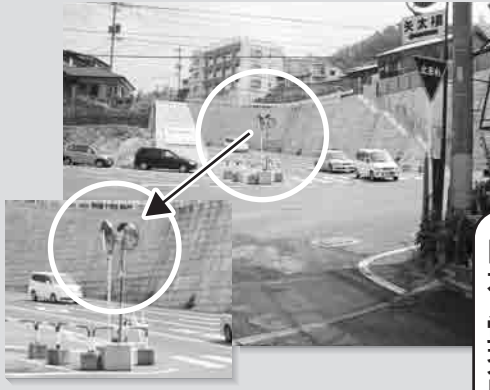
大久保ゆきしげ

352,953票獲得
(2万2,000票差をつける)



力強いご支援
ありがとうございました

☆ご相談はお気軽にご連絡を下さい(下記は改善の事例です)



白木・蚩茶屋線(白木町交差点)

進入路が5箇所で変則的な交差点で進入時衝突事故が多発していたため、事故が多い進入路から見えるようにカーブミラーを追設した



戸町3丁目市道バス路線道路

雨のたび、のり面から落石があり事故防止のため、補強しました(地域要望)



各地域の危険箇所パトロールや生活相談など実施中!

現在、台風などの大雨による災害防止のための「危険箇所パトロール」や「日常生活相談」など、地域の皆さんと共に実施中です。行政に関するお困りごとなしお気軽にご相談下さい。

編集後記

▼勝った!知名度不足、断然不利といわれた参議院選挙長崎選挙区で、41歳炎のチャレンジャー「大久保ゆきしげ」さんが、62歳のサッカー界の巨匠に2万2000票の差を付けて勝った。そして、議会制民主主義を無視、強行採決の連発、年金問題、原爆投下はしようがないなどの閣僚不祥事などを起こし、国民無視の政治を続けた自民党・公明党の与党が大敗した。しかし、これからの正念場だ。今回の勝利は政権交代の足がかりでしかなく、現野党が衆議院で過半数以上を獲得したとき悲願が達成される。それまでは参議院の第1党として大いに自民・公明連立与党にお灸をすえてもらいたい。これからの大久保さんに期待したい。

長崎市議会議員 西田みのぶ

ご相談は
お気軽に



事務所
長崎市網場町301-18
Tel & Fax 095-839-6269
生活相談室 095-861-1985

この用紙は再生紙を使用しています。

田上市長、初めての施政方針を行う！

一般会計補正予算(総額4,356万9千円)と22議案を可決！

6月定例長崎市議会は6月21日に召集、7月9日までの19日間開催されました。本議会は、自治体統一選挙後の初めての定例会であり、田上新市長の施政方針や新人議員皆さんの初登壇(市民クラブは全員)などで、活発な論議が交わされました。議案は、本年度一般会計補正予算4,300万円など市長提出の議案17件を含め22件の議案を審議し、原案通り可決・承認・同意を致しました。なお、人事案件として7月19日で退任する内田・松本両副市長の後任として、智多財政部長・椎木都市計画部長の両名が新副市長に選任されました。



智多正信副市長



椎木恭二副市長

新しい副市長

7月19日付けで長崎旧三役が退任！ 故伊藤一長市長と共に市政の発展に尽くす！



岡田慎二収入役



松本紘明副市長



内田進博副市長

お疲れ様でした

市議会トピックス

「長崎原子爆弾被爆者援護強化対策協議会(原援協)」報告



政府に要望する内田副市長



厚生労働省健康局と協議

7月10日から11日の2日間、原援協委員の一人として、政府(財務省・厚生労働省)と本県選出の国會議員に対し「原子爆弾被災者の援護」に関して5項目の要望を行いました。

要望項目の「老人被爆者医療費等に係わる地方負担の解消」については、今後の予算編成での見通しがあると感じましたが「被爆体験者に対する支援の充実」については、政府担当者との考えの相違が明らかであり、今後とも粘り強い申し入れが必要だと思いました。

【要望内容】

1. 老人被爆者医療費等に係わる地方負担の解消
2. 被爆体験者に対する支援の充実
3. 原爆症認定問題の早期解決
4. 高齢化する被爆者に対する援護の充実
5. 在外被爆者に対する援護の推進

「被爆体験者に対する支援の充実」
など5項目を政府に要望！

久間防衛大臣の「原爆投下しようがない」発言に怒り！

長崎市議会、全会一致で発言撤回を求める意見書を採択！

昭和20年8月9日、長崎のまちに原子爆弾が投下され、長崎はこの世の地獄と化しました。私たちは、この悲惨な体験から「長崎は最後の被爆地でなければならぬ」と、核兵器廃絶と世界平和を訴え続けています。また、本市議会は、被爆60周年を契機に被爆体験を若い世代に継承し、被爆の実相を後世に伝え、平和について考え行動するよう努め、また、原爆で犠牲になられた人々から哀悼の意を表するとともに、被爆地の市民として、その義務であり、権利として、声を上げ続け、世界の人々と協力し、核兵器の廃絶と平和な世界の実現に全力を挙げることを決意し、決議いたしました。

ところが、先日、久間防衛大臣が講演会で、長崎の原爆投下について「しようがないな」と思っている。「などの発言となり、到底容認できるものではありません。

よって、ここに被爆地の本市議会として強く遺憾の意を表明するとともに、発言の撤回と今後このような発言が二度と繰り返されることのないよう国に対し強く求めるものがあります。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき意見書を提出します。

平成19年7月2日
長崎市議会

田上市長の施政方針で明らかにした 19年度の新たな取り組み

分野	内容骨子
安心・安全	行政対象暴力に専門的に対応する新組織を設置
情報公開	市長交際費の使途を公開
業務改善	市職員向けに応募制による先進都市の視察研修制度を新設
防災・危機管理	ホームページなどで防災情報の提供を強化
子育て支援	地域で育児援助を行うための人材やネットワークづくり
健康・福祉	<ul style="list-style-type: none"> 特に合併地区で、小規模多機能型居宅介護事業所を整備するための助成制度を創設 発達障害者を含む障害者の就労相談や支援の窓口を設置
農林水産	<ul style="list-style-type: none"> 地産地消に関心が高い消費者を募集し、生産活動に意見を採り入れる市民サポーター制度の創設 地域の腕自慢の郷土料理を公募し「ながさき味わいの匠」を認定する制度の創設
平和	<ul style="list-style-type: none"> 平和学習推進プログラムの充実 子ども向けホームページの作成準備
合併地区	市長と活性化を語る「虹色のまちづくりミーティング」の開催

補正予算の主な内容

【市民力向上検討費】

《目的》地域の課題も多様化していく中、その課題解決のため「地域力」を高める必要があり、その地域における課題解決のために市民自ら取組む「市民力」の向上や、市民活動の連携強化のためのシステムなどを検討する会議費。
◇事業費……………100万円

【経済成長戦略策定費】

《目的》長崎市の産業構造の現状分析

◇事業費……………170万円

【観光戦略策定費】

《目的》「長崎さるく博'06」の成果をふまえ、国内外を問わず、多くの人が集まる魅力的なまちづくりに向けて、その進むべき基本的な方向性を多角的な見地から検討するため、観光戦略会議を設置し、中・長期的な観光戦略を構築する。(開催予定5回)
◇事業費……………250万円

【新世紀水産業育成事業費】

《目的》長崎市ならばな漁協が水産物を安定的に生産し供給する体制を構築するための機器の整備について支援するもの。(フオークリフトの購入経費一部助成)
◇事業費……………166万7千円

【東望海岸地区海岸災害関連事業費】

《目的》平成18年9月の台風13号により被災した東望海岸の復旧を、平成20年度完成予定から19年度中に完成させる為、事業計画を見直した。
◇事業費……………4,380万2千円



19年度の復旧を目指す東望海岸

【施設管理費(三重体育館)】

《目的》平成19年8月に完成するのに伴い、その運営経費。
◇事業費……………440万円